



2009 年度下期未踏 IT 人材発掘・育成事業 採択案件評価書

1. 担当PM

安村 通晃 PM(慶應義塾大学 環境情報学部 教授)

2. 採択者氏名

チーフクリエイター: 大山 有美(株式会社アクション 代表取締役)
コクリエイター: なし

3. プロジェクト管理組織

株式会社ゴーガ

4. 委託金支払額

3,000,000 円

5. テーマ名

安全性に配慮したウェブ型高機能 Twitter クライアント「ついでる」の開発

6. 関連Webサイト

なし

7. テーマ概要

本提案では、Twitter の利用者が陥りやすい悩みや不安を解決するための、安全性に配慮したウェブ型高機能 Twitter クライアント「ついでる」の開発を提案する。

「ついでる」は下記 4 種類の機能を有する。

1. 操作支援機能

Twitter を使い始めた当初は、誰をフォローしていいかもわからず、結果としてなかなか使うことを辞めてしまうことが多い。また、文字ばかりのためアカウントが誰のことなのかを判別しづらい。これらを改善する機能を開発する。

2. 既存ユーザのための便利機能

Twitter が楽しくなってくると、徐々にユーザー数も増加してくる。ユーザー数が増えてくると公式サイトでは、フォローしているユーザーのつぶやきをうまく把握することが難しい。また、誰かが繰り返し投稿することで、ページが占有されてしまう可能性もある。そこで、ユーザーを整理して表示する機能を開発する。

3. 安全性を図る機能

公式サイトでは使いづらい機能や、ユーザーの不安を払拭する機能を追加する。

4. 関連サービスとの連携機能

Twitter は Web API の充実が魅力であるため、フォロー関係を解析するような周辺サービスが充実している。これらのサイトにアプローチし、Web API を提供してもらうことでサービス内に取り込みたい。一方で、周辺サービスを提供するサイトにもユーザーを誘導するしくみを提供し、相互発展の環境を築いていきたい。

8. 採択理由

現在、利用者が急増しつつある Twitter のヘビーユーザーでもある提案者が、日頃から感じている Twitter の安全性の課題や使いにくさなどに対処して新たな Twitter クライアントを構築しようという提案。すでに、簡単な機能は実装を開始している。Twitter の初心者を対象としたものであるのは視点として良い。Twitter の使用実績が多く、体験に基づいた提案である点も良い。未踏期間中にどこまで開発していくのか、目標をしっかりと立ててやっていって欲しい。実用的なレベルまで仕上げる事ができれば、かなりのユーザーがつく可能性もある。できれば期間中にベータ公開をして、ユーザーからのフィードバックを元にさらに良いものに仕上げていくことが期待される。競合が多い分野であり、ぜひ頑張ってもらいたい。

9. 開発目標

本プロジェクトでは、Twitter の利用者が陥りやすい悩みや不安を解決するため、以下の4つの機能をもつ、ウェブ型高機能 Twitter クライアント「ついでる (TwitWell)」の開発を行なう。

(1) 操作支援機能: Twitter を使い始めた当初は、誰をフォローしていいかもわからず、結果としてなかなか使うことを辞めてしまうことが多い。また、文字ばかりのためアカウントが誰のことなのかを判別しづらい。これらを改善する機能を開発する。(2) 既存ユーザのための便利機能: Twitter が楽しくなってくると、徐々にユーザ数も増加してくる。ユーザ数が増えてくると公式サイトでは、フォローしているユーザのつぶやきをうまく把握することが難しい。また、誰かが繰り返し投稿することで、ページが占有されてしまう可能性もある。そこで、ユーザを整理して表示する機能を開発する。(3) 安全性を図る機能: 公式サイトでは使いづらい機能や、ユーザの不安を払拭する機能を追加する。(4) 関連サービスとの連携機能: Twitter は Web API の充実が魅力であるため、フォロー関係を解析するような周辺サービスが充実している。(たとえば、meyou: <http://meyou.jp/> など)これらのサイトにアプローチし、Web API を提供してもらうことでサービス内に取り込む。

10. 進捗概要

1月のブースト会議の後、3月27日にPMの大学に来てもらい、1回目のプロジェクトレビューを行なった。2回のレビューは、やはりPMの大学で5月27日(木)に実施した。さらに、3回目のレビューを、成果報告会の前週の、6月17日に実施した。

11. 成果

安全重視の Twitter クライアント Twitwell を開発した。開発には、PHP を用い、主に Twitter API を経由して Twitter にアクセスし、Web 上に結果が表示される。システムユーザインタフェースの全体を図 3-1 に示す。



図 3-1 Twitwell の全体イメージ

Twitwell の機能として、まず初心者ユーザ用に、(1) メッセージのユーザのアイコン画像の表示機能(図 3-2)、(2) つぶやきをスレッドとして構造化表示する機能(図 3-3)、(3) ツイートのテキストを自動引用してくれる引用 RT 機能(図 3-4)を実装した。



図 3-2 メッセージ中のユーザに対する画像アイコン表示機能

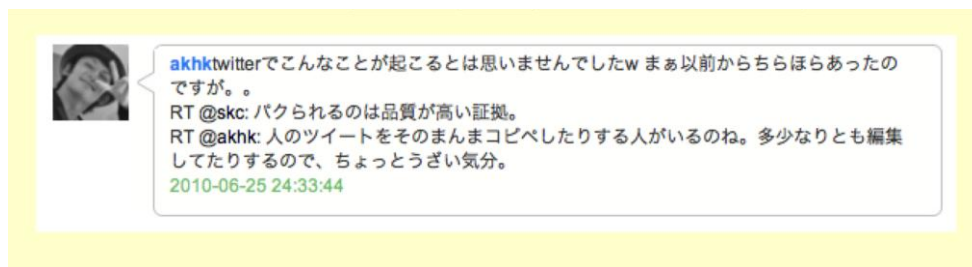


図 3-3 つぶやきの構造化表示機能

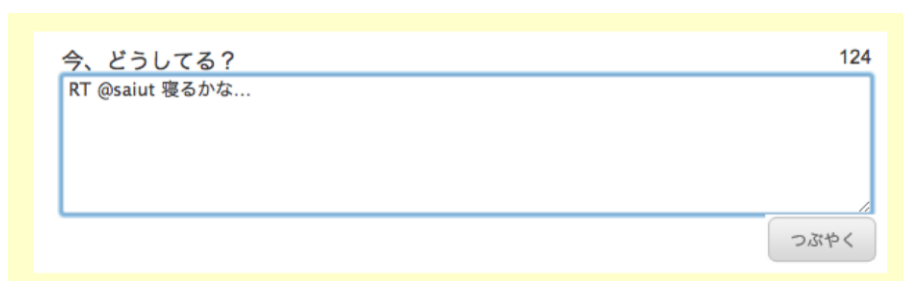


図 3-4 引用 RT 機能

また、やや熟練したユーザ向けには、(4) フォローしたりされたりしているユーザのアルファベット順での一覧表示機能、(5) 日別のつぶやき数のカレンダー表示機能(図 3-5)、さらに、(6) 自分自身はフォローしてないが、自分がフォローしている人がさらにフォローしている人を勧めるお勧めユーザ表示機能を開発した。なお、カレンダー表示機能では、つぶやき数が増えるに従って、白>水色>黄緑>黄色>オレンジ>赤と変化させている。



図 3-5 つぶやき数に応じたカレンダーの色変化の機能

さらに、安全性を高める機能として、(7) 偽装 RT の検証機能を実装した。これは、元の文章を変更して RT した場合、その変更箇所を赤い文字で表示するものである。また、(8) 他の関連サービスとの連携機能として、Twitpic の URL の上をマウスオーバーすると画像が表示される機能を実現した(図 3-6)。



図 3-6 Twitpic のサムネイル表示機能

最後に、完成した β 版に対してアンケート調査をおこない、30名から回答を得たが、特に偽装 RT に対する要望が高いことが分かった。

12. プロジェクト評価

ちょうど昨年頃から世界的に流行り始めた Twitter に対して、プログラミング経験の浅い女性クリエイターが、自らの Twitter 体験から安全性が高く使い勝手のよい Twitter クライアントを作りたいとの熱い思いをもって、このプロジェクトはスタートした。未踏に採択される直前、自分で Web 関連の会社を立ち上げたりしたこともあり、開発はこちらの期待に応えるほどは、思うように進まなかった。最後には予定して機能は一通りできた点は評価できるが、未踏と言うより高い基準からすれば、若干の物足りなさが残る。今後は、未踏クリエイターの名に恥じぬように、さらに精進を続け、これからの女性プログラマーの鑑となるよう頑張るって欲しい。

13. 今後の課題

今のままでは、これという特徴に乏しい。数ある Twitter クライアントの中で最終的に使ってもらうためには、もう少し魅力的な目玉機能を備えた、安定した Twitter クライアントシステムへの進化、および公開→改良のサイクルの継続が望まれる。